

ん。私は痛切に感じます、よしや貧窮で人らしき生活の出来得ざるまでも、我が愛子と共に其の辛酸を嘗めて是非善惡の識別し得らるゝまでは、一日たりとも愛子の側を離れまじと。

私が余義なき事情の下に、職務をすて、専ら家庭の主婦となり、五兒の母となりましてから、こゝに一年有半、朝から晩まで、晩から朝まで、子供と寢食を共にして、其の面倒を成一大手に受け、臺所の方を下女に委せて、下女にさへ成丈接せしめぬようつとめてから、心の方は余り目立ちません、身體の健康はたしかに増進した事が分ります。無論よく研究して見ますれば、其の心的狀態も余程變を來したに違ありません。男子でもですが、女子の朝から晩まで、接する人の眞似をする事は驚くばかり、母は我が子を見てよろしく自己の反省の鏡として、よろしからうと存じます。其のよく眞似る子を下女等に預けて置く事の危険なる事は、今更くり返す必要もない明々白々の事で御座います。

遊戲の手工指導法

和田 實

二六

遊戲の手工は敎授課程にあらず。從つて之を幼兒に課するに當りては努めて其不自然なる現出を避けざる可からず。不自然なる現出を避けて滑かなる進行を見んと欲せば宜しう幼兒の自發活動上に現はるゝ作業的行動の發達段階を仔細に觀察して以て之に適當なる措置を施さんことを要す。此意味に於て吾人が幼兒を觀察する所に因れば幼兒の作業的構造的興味の發動する第一歩は彼大人の作り與へたる玩具的製作物の鑑賞に始まるものと云はざる可からず。即ち祖父母、乳母、其他の幼兒看護者が最初に手製し與へたる紙人形及び折り鶴が先づ幼兒の鑑賞し玩弄するに適するに因りて茲に製作の興味を刺激せらるものとす。斯くして刺激せられたる幼兒の製作の興味は頗る模倣の本能を驅つて簡易なる模倣的工作となるは當然の順序にして之に因りて其興味は益々擴充せられ其

發達は益々促進せられ遂には僅少なる指導を以て
又は全然指導なき自己活動をして之を工作し得る
に至るものとす。遊戲的手工は幼兒の此發達段階
に應じて適當の指導法を講究せざる可からず。即
ち遊戲的手工の指導法は別ちて直接指導及間接指
導の二大部に因りて施さるゝを要す。今先づ間接
指導より順次之を説明せん。
間接指導法は幼兒の製作的興味を基礎を培養し兼
ねて製作の順序方法を無意識的に知らしめんとす
るものにして主として教育者の製作を眼のあたり
に觀察せしめ且其製作物を幼兒に給與して鑑賞し
玩弄せしむることに因りて施さるものにして彼の
幼兒の製作的發達段階の第一歩に應せんとするも
のなり。
人或は新に授與せんとする材料は可成的享受者の
好奇的興味を牽かんが爲めに授けんとする其日時
迄は何等の暗示も何等のアウトラインをも與へざ
るを以て極めて便宜とすと説くものなきにあら
ず。狡猾なる學校教師が興味少なき材料を以て徒
に教授時間を充たさんとする時若しくは未熟なる

教師が比較的に教授法の成功を希望する時等に於
て斯る政略的、秘密主義を採ること往々にして之れ
ありと雖も然も是れ極めて不自然にして且迂遠な
る方法なりと云はざる可からず。何となれば斯の
如き益なき材料の秘密主義は之を開方して前々よ
り觀察せしめたる時に比するときは簡易なる工作
に對して徒に一層の勞力を費すの必要ある可く且
又其製作物に對する幼兒の興味は前々より豫備せ
らるゝことなきが故に之が爲めに満足せしめらる
る價值感情は甚だ乏しくして喜悅の情は然して高
潮に達することもなかる可ければなり。假令開方
主義を採ることが幼少者をして時に豫定せる後年
の材料を何時の間にか知悉し居りて折角の用意せ
る材料に不足を告ぐるが如き不便はありとも之に
因りて幼兒の自然なる製作的發達を助長し眞正な
る意味に於て幼兒の自己活動を促進し得たる効果
は偉大なるものありと云はざる可からず。此効果
の存する處より見れば間接的誘導法に因りて幼兒
の機巧が未だ充分に發達せざる以前に於て早く既
に其細工其ものを觀察せしめ細工物其ものを鑑賞

せしむるが爲めに生ずる月々の豫定變更や年々の材料變更の如きは極めて些少の煩勞と云はざるべからず。之を是思はずして、彼の徒らに「見するときは覺ゆるが故に不都合なり」との理由の本に一切の材料を豫定せる時日の到着する迄全然秘するか如きは吾人は其何の意なるやを解するに苦しむものなり。

以上の理由に因りて家庭若しくは幼稚園の如き場所において機會のあらん限り幼者をして長者の工作を觀察せしめ其製作物を給與して存分に鑑賞せしめ以て間接に工作の興味を培養し簡易なる製作的手續を無意識的に知らしむるは策の得たるものなりとす。

斯の如くして工作的方向に誘導せられたる幼兒の興味は遂に發して現實的行動を採らんとするに至れば保育者は進んで直接的指導を施さる可からず。

直接的指導を要する幼兒の工作は大凡次の三段階に區別し得可し。

一、模範に因る模造工作

二、少許なる指導を受ける半自由工作
三、全然自由なる自己工作
今順次之を説明す可し

一、模範に因る製作
模範に因る製作は從來最も多く採用せられ現在に於ても亦最も多く行はれつゝある恩物教育法なるが如し。然れども是れを幼兒の自然的活動に徴して考察するときは幼兒の模倣的作業は斯の舊式幼稚園に於て見るが如き終止ある模倣的製作にあらすし一單元的作業の中に於て或は始めの部分に或は終の部分に唯幼兒の不案内を感じ自作獨行すること能はざる部分に於てのみ模倣しつゝ進み行くを以て普通とす。
彼幼稚園等に於て屢々見らるゝ如く一個の作業の全體を通じて全然教師の一舉一動を悉く模倣し秩序を遂ひ順序を蹈みて進み行くが如きことは幼兒自然的活動にあらず若し幼兒發達して此の如き境界に進み得可くば其時は以て嚴格なる教授を行ふことを得可きときにして最早遊戲的進行を施すの必要なき時なりとす。

且又此の如く嚴格なる模倣的進行は決して幼児をして工夫、想像の餘地あらしむる所以にあらず。故に幼児をして遊戲の誘導せん、場合に於ける示範的方法としては單に作業の一部分に存するものと見るを以て適當なりとす。之を以て幼児の作業の全體を律し彼の小學校に於ける示範的教式の夫れの如くならしめんとするが如きは極めて不自然なる方法と云はざる可からず。即ち遊戲的手工中に於ける示範的方法は作業の進行中に於ける某時機に際し兒童の要求に應じて提供せらる可きものにして全作業を悉く此方法に因りて爲さんとするは徒に幼児の自由を抑止し其作業的苦痛を感ぜしむるに過ぎざるものとす。之を要するに遊戲的手工指導上に於ける示範的進行は主として幼兒の作業の訂正、及其濫帶の促進等の場合に於て活動す可きものにして始めよりは嚴格に豫定す可からざるものとす。

斯くして模範に因りて工作せしめんとする場合に主として模範の示し方に注意するを要す。示範上第一に注意す可きは模範の適切なることなりと

す。即ち幼兒の發達段階に因りて其方法は多少の斟酌を要す可く最も幼弱なるものに對しては模範の大き、位置、方向、等も成る可く幼兒の手にするものと同一なるを要す可し、例へば物の左右の如きも保育者の右は彼等に採りては左なるが故に幼兒をして右せしめんとせば保育者は左せざる可からず。若し之に反して右なるが故に右を示すと云ふが如き條理一遍の示範を行ふときは徒らに幼兒の腦裏を攪亂せしめて何等の効果もなきに至らん。故に示範者は注意して幼兒の腦裏に示範者の思惟する如き動作看念を如何にして生ぜしむ可きかを苦心せざる可からず。

若し又多數の幼兒を同一時に集めて指導せんとするときは更に示範の大き、其位置、方向に注意せざる可からず。概して模範は全幼兒の一目瞭然たる様之を大にせざる可からず。其位置は全幼兒の最も見易き場所ならざる可からず其方向は成る可く幼兒の製作物と同一方向に置かるゝを要す。然して此時に於ける幼兒の位置は可成的模範に對して近距離の處にして然も正向し得る所ならざる可

からず。

二、半自由製作の場合
少許の指導に因りて半自由なる製作をなさしむるときは必要なる注意條件の外は安りに關涉せざるを良とす。多くの場合に於て大體の製法を説明し二三の要點に關して注意することあるときは大體幼兒は製作し得る程度にあるを以て常例とすれども然も工作中に於ける保育者の監視と訂正と指示とは最も重要な任務とす。此豫備的注意と監視と訂正と指示とは半自由製作の最も普通なる作業形式にして幼兒誘動上最も多き場合なれば保育者は常に此形式を最も多く採用せんことを要す。豫備的注意は周到ならんよりも大要ならんことを要す。幼兒は決して周到なる注意を記憶し得るものにあらず。故に工作の前には差し當れる一二の要點を示すに留りて直に工作せしむるを以て適當とす。

然して他は工作の進程に連れて隨時に適宜に加へらるゝを要す。
訂正は幼兒發達の程度に應じて寛嚴の度を異にせ

ざる可からず。安りに幼兒の工作を攻撃して其製作的價値を劣すは決して幼兒を獎勵する所以にあらず。且其訂正は主として幼兒自身をして爲さしむるを以て常例とせざる可からず。何となれば工作は幼兒の工作にして教師の工作にあらざればなり。

工作中に於ける次の手順の指示は必要の時期に達して始めて發せられざる可からず。其必要の時期は監視中に注意して之を發見せざる可からず。若し必要ならざるに安りに汗渉を加ふるか又は必要を過ぎて尙且何等の指示もなきが如きは徒らに幼兒の興味を損喪せしむるに過ぎずして遊戲的手工誘導の本旨に反するものなり。

三、幼兒の自由製作

幼兒をして自由に製作せしむることは遊戲的手工の理想とする所なれば幼兒の進歩に應じて常に其機會を逸せざらんことを要す。此場合に於ては其材料の範圍、數量、等に少許の豫定を與ふるか又は全然工作の種類、材料、等を幼兒の選擇に委することあり。何れにしても工作の始めらるゝや主

として幼児の自由に一任し保育者は適宜の時期に當りて時々批評を試みるを以て満足せざる可からず。而して幼児の製作に對する保育者の批評は常に積極的獎勵を與ふるものにして其言語は幼兒の機巧に對して直接的賞詞たるべく其製作物に對しては更に鑑賞的に嘉賞するを以て普通の場合とせざる可からず。何となれば幼兒及其製作物に對して間接的に圓曲なる賞賛を與ふるは徒に幼兒を大人扱ひにするものにして早熟的傾向を早むるに過ぎざればなり。

以上述ぶる所に因つて幼兒の製作を誘導するの法は畧之を盡くせり。終りに臨んで其幼兒をして製作せしめたる物品は之を如何に取扱ふ可きかに就いて一言せん。是れ又一顧の價値を有するものと云はざる可からず。蓋し幼兒の製作の行動たるや斯の大人の夫れの如く單に製作の完了を以てのみ決して満足するものに非ずして常に其自己の製作物を鑑賞し之を愛玩せんが爲めに行ふを以て最も普通なるものとす。而して此鑑賞や此愛玩やは幼兒の發達上決して徒勞に屬し徒戯に終るものに非

ずして實は製作の興味と希望と計劃とは私に此中に涵養せらるゝものなりとす。然れば幼兒をして其製作物を愛玩せしむることは手工誘導上最も適切の方法なりと云はざる可からず。唯如何にして之を玩用せしむ可きは其製作の種類に因りて夫々適切の處置を講せざる可からざるが故に今一概に之を論斷するを得ず。茲には唯幼兒教育者は妄りに「參考」の美名の下に幼兒の製作物を沒收するの愚をなさざらんことを警告するに止め詳細は以下實際篇に於て述ぶ所あらんとす。

